



北大発認定ベンチャー「株式会社 RAINBOW」が 第三者割当増資を受けました

～再生医療・幹細胞薬を用いて脳や脊髄の病気の治療を目指す～

【ポイント】

- ・ 北海道大学病院脳神経外科の医師らの設立した北大発認定ベンチャー¹⁾が、1.5 億円の第三者割当増資²⁾を受けました。
- ・ 今回得た資金で研究開発を加速させ、2023 年に日本で初めての慢性期脳梗塞患者に対する臨床研究（治験）を北海道大学病院にて予定しています。
- ・ その他にも北海道大学病院と協力し、脳出血（日本初）・脊髄損傷等に対する治験を進め、北海道発・日本発の幹細胞薬（再生医療等製品）の保険承認を目指します。

【概要】

株式会社 RAINBOW は北海道大学病院（以下、北大病院）脳神経外科で研究開発を進めてきた自家間葉系幹細胞³⁾の技術を活用し、脳や脊髄といった中枢神経疾患の回復を促す幹細胞薬（再生医療等製品）の製品化を目指し、2019 年 8 月に北大病院脳神経外科の医師（川堀真人：北大病院特任准教授、七戸秀夫：北大病院准教授、黒田敏：富山大学脳神経外科教授、寶金清博：北海道大学総長、高橋悠一：公認会計士）らによって起業されました。

幹細胞薬として承認を受けるために必要な治験には多額の研究資金が必要ですが、今回本事業の趣旨に賛同いただいた、岡三キャピタルパートナーズ株式会社、株式会社ツルハ、北洋 SDGs 推進投資事業有限責任組合、株式会社 D2 Garage、他 1 社より 1.5 億円の出資を受けることになりました。この資金をもとに、研究開発および国との協議を経て、2023 年から慢性期脳梗塞（脳梗塞になってから 1 年以上経過した）患者さんを対象とした臨床研究（治験）を北大病院にて開始する予定です。そのほかにも脳出血や脊髄損傷に対する臨床研究（治験）も計画中で、今後は、北大病院が開発してきた幹細胞培養技術に加え、幹細胞移植に必要な医療器具、再生医療の効果判定が可能となるソフトウェア、画期的細胞保存方法の開発などを通じて、真に患者さんに届く世界初の幹細胞薬を世に出すことを目的として事業展開して参ります。

【用語の説明】

- 1) 北大発認定ベンチャー：北海道大学の研究成果・人的資源を活用して起業されたベンチャー企業
- 2) 第三者割当増資：特定の第三者に新株を引き受ける権利を付与することで資金調達を受ける方法
- 3) 自家間葉系幹細胞：患者さん本人の骨髄や脂肪中に存在し、組織修復を可能にする細胞

お問い合わせ先

株式会社 RAINBOW（北海道札幌市北区北 21 条西 12 丁目 2 北大ビジネス・スプリング 206）

高橋 悠一（代表取締役社長）、ホームページ：<https://rainbowinc.co.jp>

川堀 真人（取締役、北海道大学病院脳神経外科特任准教授兼任、kawabori@med.hokudai.ac.jp）

配信元

北海道大学病院総務課広報・国際企画係（〒060-8648 札幌市北区北 14 条西 5 丁目）

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627 メール pr_office@huhp.hokudai.ac.jp